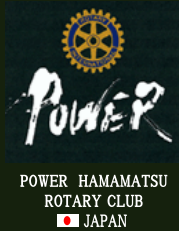


国際ロータリー第2620地区  
静岡第5グループ



# 週報 パワー浜松ロータリークラブ

親睦と奉仕の扉へ

RI 会長 ホルガー・クナーク/第 2620 地区がバナー 志田洪顯 /会長 中野敬司 /幹事 村田誠  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラアクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



## 第837回例会1月12日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：中野雄介 高橋邦明
- 点鐘：中野敬司 ■週報：内田勝善
- ロータリーソング：「夢のみずうみ」
- ゲスト：ヴォイス・セラピー実践研究家、絵本専門士 上藤美紀代様  
米山記念奨学生 サイ・ピョー・ミエン・マオさん

## 出席報告/スマイル報告

会員数 76 名 (内出席免除会員 1 名)  
出席数 58 名 出席率 77.33%

スマイル 4 件  
中野会長・村田幹事、親睦部会、  
安間孝明さん、坂井光蔵さん

## 会長挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。新年初の例会という事で、今日の食事はお正月らしいメニューを用意して頂きました。また感染防止を考慮し会話を控えつつ食事をする中で、BGM は辻井伸行さんの演奏 (CD) を流していただきました。自己満足の数々で恐縮ですが、少しでも楽しんで貰えたのなら幸いです。

さて、昨年より落ち着いた日々の連続でしたが、皆さんはお正月をどの様に過ごされましたか。私は初詣の代わりに、初日の出を拝みに浜松城へ行ってきました。その時の出来事をお話したいと思います。

私が初日の出を待っていた時、後ろの方で杖をついたお婆さんが階段でつまずき、両手を地面についたまま困ってる姿が目にとまりました。すると、近くにいた若いカップルがお婆さんの身体を支えて、日の出がよく見えるところまで連れてきてくれました。初日の出を見終えた頃、今度は別のカップルがやはり同じ様に、お婆さんの手を引いて階段を降り一緒に帰っていく様子でした。私は偶然目にしたこの情景に、新年の朝の、二組の若者のおかげで、その時の初日の出以上に清々しい気持ちにさせていただきました、という話です。

さて、卓話をお引き受けしていただいた上藤美紀代様には早朝で、しかもコロナ禍にもかかわらず静岡よりお越しいただき、ありがとうございます。社会貢献活動やボランティア活動をなさっておられた資料を事前に拝見させていただきました。ホスピス、子ども病院、少年鑑別所等でのご活動に大変感銘を受けました。お話を楽しみにしております。

最後になりましたが、新年にあたり現在の状況が早く収束する事を願うとともに、皆様には体調管理に努めて、コロナウイルス、インフルエンザ等に十分注意して頂きたく思います。なお今後の例会については状況を判断し、メール等でお知らせします。以上で会長挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

- ・ロータリーの友 1 月号を配布しました。
- ・1 月から 3 月分の会費の引き落としがありますので、確認をよろしくお祈りします。
- ・R L I のオンラインセミナーが開催されましたので報告します。

## スマイル

- ① 中野会長・村田幹事  
上藤美紀代様、本日はこのコロナ禍の中朝早くよりすばらしいお話を、ステキなお声をお聞かせいただきありがとうございました。今後ますますのご活躍を、ご健康をお祈り申し上げます。
- ② 親睦部会  
上藤美紀代さま 本日は、早朝からありがとうございました。上藤さんの美しい声、活動にとっても心を動かされました。これからもますますのご活躍をお祈り申し上げます
- ③ 中野会長・村田幹事  
今年度も、やっと折り返し地点を向かえております。このコロナ禍でなかなか思うような活動が行えませんが、残り半年です。頑張ってやって行きます。皆様どうかよろしくお祈りいたします
- ④ 安間孝明さん  
年末には、亡き母のために皆様方からお心遣いをいただき、心から感謝致します。クリスマスイブに父を追うように 9 2 才で点に帰りました。ありがとうございました。
- ⑤ 坂井光蔵さん  
明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。年末の 27 日に社内の忘年会を行いました。日頃より社内ではコロナ感染対策について科学的・論理的に考えて行こう様にとおっしゃっていましたので、クラスターを起こすわけにはいきません。オークラホテルさんに協力して頂き、3 密対策をしっかり行い、なおかつ、大石莉帆さんをお願いして生演奏の中、晩餐会のような忘年会になりました。しかし残念ながら出席者は例年の 2 割程でした。がっかり。

## 卓話 上藤美紀代様 「声のチカラ」

担当：親睦部会



## &lt;講師プロフィール&gt;

- 1981 年 日本女子大学家政学部卒業、SBS静岡放送にアナウンサーとして入社。
- 1997 年 9月 同社退社
- 2003 年 4月 静岡大学大学院人文社会科学 研究科臨床人間科学専攻ヒューマン・ケア学コース入学
- 2005 年 3月 同研究科修了。(学位：修士(臨床人間科学))
- 2011 年 3月 特定非営利活動法人「ヒューマン・ケア支援機構」副理事長兼事務局長に就任
- 2017 年 5月 国立青少年教育振興機構認定「絵本専門士」の資格を取得  
ヴォイスセラピー実践研究家 並びに絵本専門士として活動
- 現在



女性は声に敏感で、どんな言葉がどんな声によって伝えられるかに関心を持ちます。男性は声に関心を持たず、言葉の意味がわかればよいそうです。なので、顔の悪いプレイボーイはいますが、声の悪いプレイボーイはいません。

声と精神的なものは密接に関わっており、声を出していると元気になれます。また、声のトーンを変えるだけで様々な表現ができます。

声のチカラはすごいです。声により癒しを与えるだけではなく、お互いが癒される声を出せるようにするのがヴォイス・セラピーです。

ホスピスでの朗読のボランティア活動の中で、最後に患者さん本人を救うのは家族の声である、と学びました。声に想いを込めれば相手に届きます。声使いを気にしていただきたいです。優しい声で関わりたいと思えば、優しい言葉がでできます。絵本など自ら声を出して読んでもらいたいですね。

